

社会資本総合整備計画 事後評価書

計画の名称	茨木市における総合的な下水道整備の推進（その3）（防災・安全）												
計画の期間	令和02年度 ～ 令和06年度（5年間）								重点配分対象の該当				
交付対象	茨木市												
計画の目標	大規模地震に備え、下水道施設の耐震化を推進するとともに下水道施設を適切に管理することで、安全で安心してくらせるまちづくりに貢献する。												
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）	3,168	A	3,168	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C+D)	0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値 R2当初	中間目標値 R4末	最終目標値 R6末
1	計画期間内に重要な幹線に位置づけた管路の耐震対策率を98.0%（R2）から99.8%（R6）に増加させる。（耐震対策延長0.9km） 計画期間内における重要な幹線の耐震対策実施率（%） 計画期間内の耐震対策実施済の重要な幹線の延長（km） / 計画期間内に耐震対策を実施すべき重要な幹線の延長（0.9km）	0%	100%	100%
2	計画期間内における人孔蓋取替えの実施率を0%（R2）から100%（R6）に増加させる。 計画期間内における人孔蓋取替えの実施率（%） 計画期間内に人孔蓋取替えを完了した箇所（箇所） / 計画期間内に人孔蓋取替えを実施すべき箇所（267箇所）	0%	71%	100%
3	計画期間内における管路の改築更新実施率を0%（R2）から100%（R6）に増加させる。 計画期間内における管路の改築更新実施率（%） 計画期間内に管路の改築更新を完了した延長（km） / 計画期間内に管路の改築更新を実施すべき延長（1.1km）	0%	16%	100%
4	計画期間内におけるポンプ場の改築更新実施率を0%（R2）から100%（R6）に増加させる。 計画期間内におけるポンプ場の改築更新実施率（%） 計画期間内に改築更新を完了した設備（箇所） / 計画期間内に改築更新を実施すべき箇所（45箇所）	0%	100%	100%

備考等	個別施設計画を含む	<input type="radio"/>	国土強靱化を含む	<input type="checkbox"/>	定住自立圏を含む	<input type="checkbox"/>	連携中枢都市圏を含む	<input type="checkbox"/>	流域水循環計画を含む	<input type="checkbox"/>	地域再生計画を含む	<input type="checkbox"/>
-----	-----------	-----------------------	----------	--------------------------	----------	--------------------------	------------	--------------------------	------------	--------------------------	-----------	--------------------------

事後評価

○事後評価の実施体制、実施時期

事後評価の実施体制

茨木市建設事業評価委員会（外部有識者）

事後評価の実施時期

令和8年2月

公表の方法

茨木市のホームページに掲載

○事業効果の発現状況

定量的指標に関連する
交付対象事業の効果の発現状況

- ・老朽化対策により下水道施設の持続的な機能確保及び下水道施設に起因する事故の未然防止が一定図れた。
- ・下水道施設の耐震化により地震に対する安全度の向上及び安定した都市活動の継続が図れた。

定量的指標以外の交付対象事業の
効果の発現状況（必要に応じて記述）

○特記事項（今後の方針等）

○引き続き下水道ストックマネジメント計画に基づき、計画的な点検・調査及び修繕・改築を実施していく。

- ・下水道ストックマネジメント計画に基づく緊急度に応じた管路の改築
- ・下水道ストックマネジメント計画に基づく健全度に応じたポンプ場の修繕及び改築

※令和7年度末には、下水道ストックマネジメント計画（第2期）を策定。

○目標値の達成状況		
番号	指標（略称）	
	目標値／実績値	目標値と実績値に差が出た要因
1	計画期間内における重要な幹線の耐震対策実施率（％）	
	最終目標値	100％
2	最終実績値	100％
	計画期間内における人孔蓋取替えの実施率（％）	
3	最終目標値	100％
	最終実績値	40％
4	計画期間内における管路の改築更新実施率（％）	
	最終目標値	100％
	最終実績値	100％

改築工法（布設替工法または更生工法）の選定に時間を要し、当初予定していた延長の工事を実施出来なかったためである。なお、未改築の対象管渠については、令和7年度以降に引き続き改築更新を実施。